

モエ・エ・シャンドン

★ カンヌ国際映画祭の開催中に開催されたamfARのシネマ・アゲインスト・エイズにて ★

★ モエ・エ・シャンドン「グラン・ヴィンテージ 1911」最終オークションが高値で落札 ★

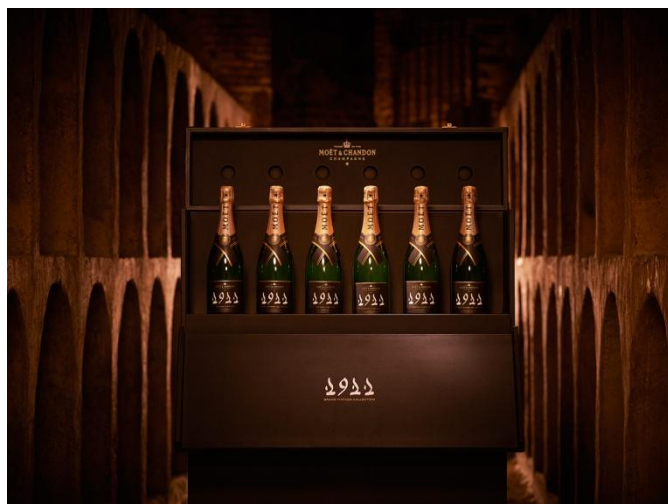
～フェスティバルで最も待望されるイベントにおいて、希少な逸品は€150,000で落札～

世界で最も愛されているシャンパン、モエ・エ・シャンドンは1743年以来、魅惑的な極上のシャンパンを提供し、長きにわたって国際映画界に協賛しております。毎年恒例の19回目となるamfARのイベント「シネマ・アゲインスト・エイズ」において、伝説のシャンパン『グラン・ヴィンテージ1911』の最終オークションを開催しました。第65回カンヌ国際映画祭の中で開催されたこのオークションにおいて、モエ・エ・シャンドンの100年の歴史を誇る貴重な逸品は€150,000で落札され、その収益はエイズ研究に寄付されます。

スターが勢ぞろいするamfARのイベントは、カンヌ国際映画祭で最も待望されるイベントの1つであり、映画祭では最高級のパーティーとして広く知られています。モエ・エ・シャンドンは、amfARのイベントの公式シャンパンメゾンとして、カール・ラガーフェルド、ベレニス・ベジョ、ミシェル・アザナヴィシウス、ダイアン・クルーガー、エイドリアン・ブロディ、ミラ・ジョヴォヴィッチ、カイリー・ミノグなど、映画界で最も成功を取める数多くのセレブリティをコート・ダジュールのホテル「オテル・デュ・キャップ・エデンーロック」で歓待しました。

この1年間、モエ・エ・シャンドンは、トロントからロンドン、パリ、メルボルン、北京、そしてモスクワに至る世界の11都市で、11回のオークションを開催してきました。各地で『グラン・ヴィンテージ1911』をオークションにかけ、その収益は各地域の慈善団体に寄付されています。

今回のamfARのイベントは、世界各地で開催された一連のチャリティーのフィナーレとなり、最後の『グラン・ヴィンテージ1911』がオークションにかけられました。『グラン・ヴィンテージ1911』の類まれなる品質にふさわしく、番号の付けられた6本の限定ボトルは、エレガントな革のケースに入って登場しました。ヴィンテージの色は美しいゴールドイエローで、素晴らしく上質な深みは輝きと清澄さを想起させます。ブリオッシュと砂糖漬けのフルーツを彷彿とさせる香りを放ち、完璧にバランスの取れた芳醇でなめらかな風味を合わせもっています。



モエ・エ・シャンドンの代表取締役社長兼CEOであるステファヌ・バシエラ(Stéphane Baschiera)は次のように述べています。「カンヌ国際映画祭、そしてamfARのイベントは、世界で最も優れた映画の成功と、世界映画界のビッグスターたちの魅力を象徴する場所です。映画に欠かせないシャンパンとして映画界とともにこの一大イベントを祝い、チャリティー精神のもとに伝説のグラン・ヴィンテージ1911を分かちあえることを、心から光栄に思います。」

「豪華なパーティーが放つ、華やかな輝き」——その代名詞であるモエ・エ・シャンドンは、ハリウッドで開催される格式高いイベントに、長きにわたって参加しています。そして、国際的な映画祭で何世代にもわたり、映画界の伝説的な俳優や監督の功績に祝杯を挙げ、魅惑的な世界において燦爛たるセレモニーの空間を提供しています。

モエ・エ・シャンドンについて

モエ・エ・シャンドンは260年以上に渡り、ファビュラスなセレブレーションのシンボルとなっています。18世紀末、創業者の孫にあたるジャン・レミー・モエは、シャンパンの魅力を世界中の人々と分かち合おうと決心し、この洗練されたワインをヨーロッパの貴族たちに紹介しました。当時から「モエのボトルを開けよう」という言葉は、ありきたりの日常を特別な瞬間へと変えてきた魔法です。

モエ・エ・シャンドンの品質と豊かな泡立ちは、絶妙なバランスで気品を添え、あらゆる時間を記念すべき瞬間へと導きます。モエ・エ・シャンドンはシャンパーニュ地方で最大規模の葡萄畑を所有するもっとも洗練されたファインワイン造りのリーダーとして、ほぼ3世紀に渡り世界でもっとも愛されてきたシャンパンです。また、モエ・エ・シャンドンは、世界中でセレブレーションを演出してきました。F1表彰式のシャンパンファイト、パリコレクション、東京コレクションをはじめ世界中のコレクションの公式シャンパン、ニューヨークの自由の女神120周年では歴史的なセレブレーションを演出し、またカンヌ国際映画祭、ゴールデングローブ賞、アカデミー賞など世界各国で開催されている映画祭をサポートするなどその輝きを發揮しています。そしてシャンパン業界で初めてとなるハリウッドスターを起用した広告キャンペーンでは女優のスカールレット・ヨハンソンをミューズに展開するなど、モエ・エ・シャンドンは常に時代をリードしていきます。